

第40回 民放労連全国女性の集い

東京大会

in ダイアモンドホテル

～明日への希望の道を見つけよう～
5月17日(土)～5月18日(日)

◆◆各地連参加目標◆◆

北海道	5名	中四国	25名
東北	30名	九州	30名
関東	100名	沖縄	5名
北信越	15名	東京支部連	5名
東海	7名	本部	15名
近畿	40名		
		合 計	277名



女性協の存在意義、運営方法なども話し合われた

女性協 拡大常任委員会を開く 各地連の現状、 要求など意見交換

3月8、9日、東京で拡大常任委員会を開催した。本部から確水委員長、岩田副委員長、阿座上中執を迎え、六地連一支部連、一七人が参加した。

一日目は栗田議長の開会あいさつの後、各地連女性協議長が年末闘争の総括と春夏闘争要求を報告。次に女性協の存在意義、今後の運営方法、拡大常任委員会のある方について意見交換を行った。また、本部から3月7、8日に行われた地



女性協議会

上波デジタルを考える会」の報告がなされ、最後に、5月17日・18日に東京で開催される「全国女性つどい」成功のために各地連の参加目標を確認し終了した。

二日目は「全国女性のつどい」について佐藤実行委員長が事務局長から説明がなされ、確水委員長からは「日本テレビの新賃金体系案」についての講義が行われた。以下に各地連の現状、主な春夏闘要求を記す。

◆関東地連◆

要求は以下の通り。

日本テレビⅡ育児・介護休業の月例賃金保障。日単位の取得。育児時間を就学前まで。妊娠中最大九〇分までの時短。TBSⅡ育児休業中の勤務。有給化。男性社員の子育時間取得促進、妊娠障害対策、社内託児所設置、ベビシッター補助の増額。フジテレビⅡ産前産後休暇の有給化。養育時短を小学就学まで。テレビ朝日Ⅱ育児休業中の月例賃金保障。二年に延長、分割取得、勤続年数へのフルカウント。育児時間取得を二歳までに。育児時短の賃金減算中止。社内託児所設置。ベビシッター補助の増額。産前産後休暇の有給化。テレビ東京Ⅱフル休暇取得条件の緩和。妊娠中一日二時間の時短。育児時短を就学前まで。休職期間の給与保障。

◆北信越地連◆
社員と派遣の数が逆転している現状を報告。北日本放送Ⅱ昇格により組合員が半減。管理職組合を作るべきか。北陸放送Ⅱ新人事制度導入なども評価側に問題存在。派遣社員増。◆東海地連◆
春夏闘に母性関連要求は提出せず。現状のみ報告。静岡第一テレビⅡ妊娠、産休ラッシュも手伝い人手不足。労基署より「36協定未締結は違法」「管理職が多すぎる」との指導あり。静岡朝日テレビⅡ二年からの「新人事制度」提案を未だ拒否。名古屋テレビⅡ6月で組合解散予定。名古屋東通からの派遣社員の有給消化認められず。

◆近畿地連◆

要求は以下の通り。

関西テレビⅡ育児勤務期間を四歳から就学前までに。小学校入学時の時短勤務。年末闘争の回答(育児支援について)研究(中)の具体的な説明を要求。毎日放送Ⅱ分娩休暇一六週。読売テレビⅡ育児時短を男女同じに。大阪東通Ⅱ産前産後休暇の有給化。育児期間の勤続年数への通算。旧姓・新姓の選択権。セクハラ調査と判断基準の明確化、不利益の排除。

◆中四国地連◆

要求は以下の通り。

中国放送Ⅱセクハラ等の外部専門者による相談窓口設置と会社側の被害者への対処経過報告を要求。その他、妊娠障害・産休・育児・育児勤務の有給化、産休の一六週化、育休を満三歳の年度末まで。小学校入学後一

年間の実働六時間化。広島テレビⅡ組合が4月以降の健康保険改定関連で統一要求を提出。育児・介護休業の賃金の六割保障、時短の有給化、勤続年数への通算。西日本放送Ⅱ育休は三年とし、賃金の六割以上保障、勤続年数への通算、社会保険料の全額負担。産休期間の有給化。南海放送Ⅱ派遣社員の社員化要求。育児減額廃止。日単位の特別有給休暇設置。

児・介護休業について勤務短縮を最大四時間まで一年間、賃金の六割支給、勤続年数への通算。山陰放送Ⅱ育児・介護休業の勤続年数への通算、社会保険料等の全額会社負担。四国放送Ⅱ育児・介護休業中の賃金六割支給、社会保険料の全額会社負担、時短勤務の賃金減額廃止。日単位の特別有給休暇設置。